

# 研修企画書

作成 2021年8月31日

企画No.	ページ
21-000	1/2

提出先		様	
研修テーマ	後輩指導の基本	対象・人数 約35名	
日時	2021年度	テキスト・資料	
			時間数 09:00~17:00
会場	貴院ご指定会場		
担当講師			
<b>学習の狙い</b> ① 新人の「専門職者としての基礎づくり」を支援する ② 新人がチームの一員としてチーム目標に貢献できるよう支援する ③ 新人のキャリア up の支援者となる			
<b>学習の目標</b> 1. 新人が身に着ける能力について理解する 2. 体験学習の基本的な考え方を学ぶ 3. 新人の成長段階にあった課題設定の仕方について学ぶ 4. トレーニングとコーチングとその使い分けを学ぶ 5. 筋道立てた説明の仕方を学ぶ 6. 思考を促す質問・傾聴のスキルについて学ぶ 7. フィードバックとは何か、その進め方について学ぶ			
<b>研修の展開</b> 講義 ・ グループ学習 ・ 演習 ・ 事例討議			
<b>ご準備いただくもの</b> ・ プロジェクター …1台 ・ メインPC …1台 ・ 模造紙 …1~2枚/グループ ・ 水性マジック …1セット/グループ ・ グループ編成表 …4~5名/グループ ・ 付箋 (75mm×75mm) …100枚/グループ			
<b>その他のお願い</b> 当日は ご自身のスマートフォン等のQRコード読み取り用デバイスをご持参ください。			

有限会社 ビジネスブレン  
TEL 044-865-3081

企画

研修スケジュール

企画No.	ページ
21-000	2/2

時間	カリキュラム	主な狙い
09:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション (講義・ダイアログ)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の目的、目標</li> <li>・グループづくり</li> </ul> </li> <li>○育成する能力 (講義・演習・グループ学習)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・input と output する力</li> <li>・アビリティと指導計画</li> </ul> </li> <li>○体験学習の基本理解 (講義・グループ学習)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・私の成長を支えた指導</li> <li>・体験学習の基本理論</li> <li>・ドレイファスの10年モデル</li> <li>・優れたトレーニングの三原則</li> <li>・学習準備とは</li> <li>・成長段階に合った目標設定</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*何のために何を学ぶのか、どのような方法で進めるのかを確認する。</li> <li>*対話学習の場づくりをする。</li> <li>*input する能力と output する能力の育成について理解する。</li> <li>*きっちりとした仕事につながるアビリティとその育成計画について学ぶ。</li> <li>*実地指導者の役割について検証する。</li> <li>*事前課題のVTR 視聴して、体験からの成長を促す指導の要件を整理する。</li> <li>*体験学習の基本理論を理解することで指導者としての支援のあり方につなげる。</li> <li>*経験を通してどのようなプロセスで私たちが熟達してゆくのかを理解する。</li> <li>*学習準備の内容を確認し、成長段階にあった目標設定の進め方を学ぶ。</li> </ul>
12:30	昼 食	
13:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導の効果と関係性 (講義・グループ学習・事例討議)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニングとコーチングの相違</li> <li>・成功の循環モデル</li> <li>・承認のスキル</li> </ul> </li> <li>○指導と3つの対話のスキル                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な説明</li> <li>・自己認知の4点セット</li> <li>・聞く・訊く・聴くの相違</li> <li>・思考停止の質問と思考促進の質問</li> <li>・演習</li> </ul> </li> <li>○フィードバックとは (講義、演習)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィードバックとは</li> <li>・フィードバックコントロールとは</li> <li>・演習</li> </ul> </li> <li>○本日の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*コーチングとトレーニングの相違を理解し、使い分けにつなげる。</li> <li>*成功の循環モデルを基に承認のスキルの重要性を理解する。同時に演習を通してそのスキルについて学ぶ。</li> <li>*相手に伝わる筋道立てた説明について演習を通して学ぶ。</li> <li>*自己認知の4点セットを活用し、深く聴くことを学ぶ。</li> <li>*思考を促す質問について事例を挙げて活用につなげる。</li> <li>*フィードバックとは何か、フィードバックの効果とは何か、効果的なフィードバックのポイントは何か、フィードバックコントロールとは、を学ぶ。</li> <li>*本日学んだことを整理する。</li> </ul>
17:00		

※ 講師の判断で内容を変更することがあります。